

— 特集 —  
人と文化で  
賑わう  
沖縄市

# スポーツ交流で賑わうまちづくり

沖縄市では、地域に根ざしたスポーツ活動を通し、健やかで豊かな心と体の育成や活気あふれるスポーツ交流のまちづくりを目的として、1996年に「スポーツコンベンションシティ」を宣言しました。市内には、沖縄市立総合運動場(コザ運動公園)、沖縄県総合運動公園などの市民等が使用

できるスポーツ施設を有し、さらに2020年度には一万人規模の多目的アリーナが完成するなど、施設の充実度は県内随一です。また、プロ野球の広島東洋カープのキャンプ地、FC琉球、琉球ゴールデンキングスのホームタウン、パナソニックパナサーズのサブホームタウンでもあり、プロ

だけでなくアマチュアのスポーツ団体のトレーニングキャンプ地にも選ばれ、県内外から多くのスポーツ関係者やファンが年間を通して訪れています。スポーツイベントも豊富で、様々な取組が行われ、沖縄市のスポーツ振興は年々高まりを見せています。

Okinawa City declared itself as the "Sports Convention City" in 1996 with the aim of fostering a healthy and abundant mind and body and creating a vibrant sporting community through sports activities rooted in the local community. The city has sports facilities that can be used by all of its citizens, such as the Okinawa City KOZA Sports Park and the Comprehensive Athletics Park. Also, a

multipurpose arena of 10,000 people will be completed in 2020, a first of its kind in the prefecture. Our city also hosts the Japanese professional baseball team Hiroshima Toyo Carp's training camps, and is the proud hometown for FC Ryukyu, the Ryukyu Golden Kings, and a sub-hometown for the Panasonic Panthers. Many sports enthusiasts and fans come visit

our city all year round for our sporting events and various activities. The promotion of sports in Okinawa City is increasing year by year.

## 沖縄にスポーツ旋風を巻き起すFC琉球、



公式グッズも充実しているよ!



ジンペーニョ



### FC琉球

地域活性化をテーマに据えた沖縄唯一のプロサッカーチーム

FC琉球は2003年に創設された沖縄に存在する唯一のプロサッカーチームです。2010年より沖縄市をホームタウンとし、ホームスタジアムは沖縄県総合運動公園陸上競技場であるタピック県総ひやごんスタジアム。チーム創設時より「さまざまな活動を通じて地域活性化へ貢献」という想いを掲げ、地域密着型チームを目指してきました。そのためホーム

タウン活動が活発に行われています。市内でのサッカー教室はもちろん、社会福祉活動として泡瀬漁港や沖縄全島エイサーまつり後の会場など市内各所でのボランティア清掃や、特別支援学校や保育園、学校等への訪問など、さまざまな機会を通して市民との交流を続けていきます。



## 琉球ゴールデンキングスのホームタウン



バスケの妖精の僕と一緒に応援しよう!



ゴードィ



### 琉球ゴールデンキングス

「沖縄をもっと元気に!」をテーマにホームタウン活動に尽力する強豪チーム

琉球ゴールデンキングスはB.LEAGUEに所属するプロバスケットボールチーム。現リーグの前身であるBj leagueでは、全チーム最多4回の優勝を果たすなど、全国的にも人気の高い強豪チームです。2014年に沖縄市をホームタウンに表明し、現在は沖縄市体育館をホームアリーナとしていますが、2020年度には1万人収容の沖縄アリーナが完成予定。「沖縄を

もっと元気に!」の理念のもと、2017年から「琉球ゴールデンキングス ドリーム スタディードリル」を制作し、市内の小学3年生全員へ贈呈。また、2018年には沖縄市役所へオリジナルボールペンを贈呈し、市民がより身近に感じられる存在になれるよう充実したホームタウン活動を行っています。





# パナソニックパンサーズのサブホームタウン、 長年愛される広島東洋カープのキャンプ地



## PANTHERS パナソニック パンサーズ

バレーボールの更なる普及・発展を目指し2018年にサブホームタウンへ

パナソニック パンサーズは、大阪府枚方市を本拠地とするパナソニック男子バレーボールチーム(V.LEAGUE Division1所属)。1951年に松下電器産業(現パナソニック)内で発足し、2007-08にV・プレミアリーグで初優勝を果たして以来、めざましい活躍を遂げ2017-19Vリーグでは二連覇しています。2018年から沖縄市がサブホームタウンとなり、バレーボールVリーグ男子公式戦が開催

されるようになりました。またホームアリーナである沖縄市体育館では、夏期の強化キャンプも行っています。キャンプ以外でも度々沖縄市を訪れ、市内の小中高生を中心にバレーボール教室を開催しています。これらのホームタウン活動を通し、沖縄市で親しまれるスポーツチームになっており、沖縄市から県全体へのバレーボールの普及・強化が今後期待されています。



## 広島東洋カープ

キャンプ期間中は市内がカープカラーに染まる人気のプロ野球チーム

広島東洋カープは、1982年から沖縄市のコザしんきんスタジアム(旧 沖縄市営球場)で春季キャンプを行っています。沖縄県をキャンプ地として利用している球団の中でも特に早い時期からスタートしたことで知られ、市民に長く親しまれています。キャンプ期間中には、沖縄市の広島東洋カープ沖縄協力会主催の「歓迎の夕べ」が開催されるほか、歓迎のためのバナーや横断幕が街中に飾られ、沖

縄市がカープカラーに染まり、大いに賑わいます。また、広島県での公式戦の期間中には、沖縄市スポンサードゲームを開催しています。さらに、沖縄市から観戦ツアーの実施や球場内で沖縄市のブースを出店するなど、キャンプ開催時期以外でも積極的な交流を図っています。



スライリー

## 沖縄市の主なスポーツ関連イベント

沖縄市はコザ運動公園、沖縄県総合運動公園というスポーツ施設を有し、プロ野球セ・リーグの広島東洋カープが春季キャンプを行うほか、プロアマ問わず数多くのスポーツ選手がトレーニング・キャンプに訪れます。

また、毎年2月に開催される「おきなわマラソン」など、年間通じてスポーツ関連イベントも盛りだくさんです。

### 広島東洋カープ沖縄キャンプ

毎年2月

### FC琉球シーズン期間

毎年2月～11月

### 琉球ゴールデンキングスシーズン期間

毎年10月～4月

### パナソニック パンサーズシーズン期間

毎年10月～4月

### 沖縄市ウォーキングフェス

毎年1月

### おきなわマラソン

毎年2月

### 沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ

毎年3月

### 沖縄市スポーツデイ

毎年10月

### 中部トリムマラソン大会

毎年11月







## 沖縄市の主な スポーツ施設

沖縄市には、「沖縄県総合運動公園」と「沖縄市立総合運動場(コザ運動場)」の2大スポーツ施設があり、2020年度には一万人規模のアリーナも完成。プロ・アマ問わず数多くのスポーツ合宿や試合が開催されています。また、多くの市内外の人々が利用できる設備、参加できるイベントも多く、スポーツ施設は沖縄市の文化、観光振興を推進する上で、重要な役割を果たしています。

Popular sports facilities in Okinawa City

There are two major sports facilities in Okinawa City: the Okinawa Comprehensive Athletic Park and the Okinawa City Koza Sports Park. In FY2020, an arena that can seat up to 10,000 people will be completed. Many sports camps and athletic games are held regardless of professional or amateur. In addition, there are many facilities that can be used by people in and out of the city, as well as many events year round to attend. Sports facilities play an important role in promoting the culture and tourism of Okinawa City.



2020年度  
完成  
予定

## 県内初の1万人キャパの 全天候型多目的アリーナ

県内初の1万人規模多目的アリーナが2020年度に誕生します。

Bリーグ「琉球ゴールデンキングス」のホームアリーナとなり、2023年には「FIBA バスケットボールワールドカップ2023」の開催が決定しています。コンサートやコンベンション等にも対応できる使いやすさと、アクセスの利便性を兼ね備え、本市の新しいランドマークとして期待されています。

The prefecture's first 10,000 user all-weather multi-purpose arena

The first 10,000 user multi-purpose arena in the prefecture will be opened in 2020.

It will be the home arena for the B league "Ryukyu Golden Kings" and also plans to host the "FIBA Basketball World Cup 2023." Combining ease of use for both concerts and conventions matched with easy access makes the place a new landmark in the city.



## 市民が身近に体感する 沖縄市のスポーツ

Bringing sports closer to the people of Okinawa City

沖縄市では市民が参加できるスポーツのイベントが一年を通して開催され、スポーツがまちづくりを支える大切なキーワードになっています。

2月には、県内でも有数の大型マラソン大会である「おきなわマラソン」が開催され、県内外から一万人を超えるランナーが参加しています。3月には、トップレベルの強豪チームを招いての「沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ」が開催され、高校生の熱戦が繰り広げられています。10月には体育の日に合わせて沖縄市立総合運動場で「沖縄市スポーツデイ」を行っています。スポーツデイでは、各種スポーツの体験教室などが開かれ、幅広い世代が集い、楽しめるスポーツのイベントとして定着しています。一方、FC琉球や琉球ゴールデンキングスの公式戦が頻繁に開かれるなど、スポーツを見て楽しめる環境も充実。多くの市民が気軽にスポーツに親しんでいます。



Sports events held throughout the year in Okinawa City is an important aspect of tourism and cultural urban development.

In February, the Okinawa Marathon, one of the largest marathon events in the prefecture, was held and more than 10,000 runners from inside and outside the prefecture participated. In March, the "Okinawa Mayor's Cup High School Basketball Tournament" was held, inviting top-level teams and high school students to the city. In October, the city hosts the "Okinawa City Sports Day" at the Okinawa municipal sports complex to celebrate the day for physical education. On sports day, various sports experience classes are held and a wide range of generations are gathered and enjoyed. Furthermore, the FC Ryukyu and Ryukyu Golden Kings' official games are frequently held, making it an ideal environment for watching sports for all citizens.

Okinawa City holds the annual "Okinawa City Sports Day" in October to enjoy sports and realize a healthy and vibrant society. We also conduct physical fitness tests, classes and trial experiences for various sports.



スポーツを楽しむ、健康で活力ある社会の実現を目指し、沖縄市では毎年10月に「沖縄市スポーツデイ」を開催し、新体力測定や各種スポーツに関する教室や体験等を実施しています。

## Column



### 沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ

沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップは国際交流スポーツ大会として、県外、国外からも強豪チームを招聘し、高等学校リーグ戦や小中学生のエキシビジョンマッチ、ダンクコンテストなど回を重ねるごとに認知度も高くなり、盛り上がりを見せています。

#### Okinawa City Mayor's Cup High School Basketball Tournament

The Okinawa City Mayor's Cup High School Basketball Tournament is an international exchange tournament, where the city invites powerful teams from outside the prefecture and abroad, as well as top level highschool players to compete. There is a league tournament and exhibition match for elementary and middle school students as well as a slam dunk contest.



—特集—  
人と文化で  
賑わう  
沖縄市

The city of eisa dancing

# 鳴り響くエイサー ーで賑わうまち

沖縄市に古くより受け継がれてきた「エイサー」は、今や沖縄全体を代表する夏の風物詩であり、伝統文化として県外にも広く知られています。こどもから大人まで「ちむどんどん(心が高鳴る)」するエイサーの魅力とは？その歴史と進化する姿に迫ります。

The eisa dance has been a crucial aspect of the culture in Okinawa City since ancient times and is now a summer tradition that represents the entire Okinawa island, widely known outside the prefecture as a traditional form of art. Many Okinawans feel their heart beating to the sound of the eisa drums, or “chimudondon” during this period of the year. Let’s take a look at the eisa and its history and roots.

## 沖縄市民の心を駆り立てるエイサーの継承と発展

エイサーとは先祖崇拝に即した旧盆行事の一つで、本土の盆踊りにあたります。起源については諸説ありますが、「李朝実録(1947年)」という500年以上前の文献に記録が残っていることから、その歴史の長さが伺えます。沖縄市では古くより各地で盛んに行われてきましたが、1956年に開催された「コザ市エイサーコンクール」をきっかけに“魅せるエイサー”が台頭し、各青年会で衣装や演舞に工夫を凝らし、エンターテイン

ト性あふれるエイサーが広まりました。1977年からはコンクールが廃止され、競い合うことのない「沖縄全島エイサーまつり」となり、沖縄県内最大のエイサーイベントとして県内外の人々から人気を博しています。このように沖縄市を中心に発展を遂げ、人々を魅了してきたエイサーの歴史を継承し、「エイサーの本場沖縄市」のPRと地域の活性化を推進するために、沖縄市は2007年に「エイサーのまち」を

宣言しました。2011年にはエイサーののまち沖縄市PRキャラクターが誕生し、さらにエイサーモニュメントを市内各地に建立したり、ウェブ上で無料で受講できるエイサー検定を実施したりと、さまざまな方法で「エイサーのまち」のPRに努めています。2018年には、エイサーの発信拠点として、コザ・ミュージックタウン内に「エイサー会館」がオープン。エイサーをキーワードにしたまちづくりを、さらに推進しています。

三線と太鼓の響き。  
沖縄市にじりじりまわる

The eisa dance has been a crucial aspect of the culture in Okinawa City since ancient times and is now a summer tradition that represents the entire Okinawa island, widely known outside the prefecture as a traditional form of art. Many Okinawans feel their heart beating to the sound of the eisa drums, or “chimudondon” during this period of the year. Let’s take a look at the eisa drums and its history and roots. Succession and development of eisa drives the hearts of Okinawa City citizens. Eisa is part of the old obon festival ceremony and a significant part of ancestor worship, similar in form to the obon dance on the mainland. There are various

theories about the origin, but its long history can be inferred from the fact that it is mentioned in the “Veritable Records of the Joseon Dynasty(1947)” as having a history of more than 500 years. It has been popular in various places since ancient times, but the “Koza City Eisa contest” , held in 1956 led to a diversified form of eisa dancing paying attention to details in costumes and other performative aspects of the dance. The contest was abolished in 1977 and changed its name to the “Okinawa Zento Eisa Festival” , gaining popularity among people inside and outside the prefecture as the largest eisa event in Okinawa Prefecture.

In order to carry on the history of eisa which was developed mainly in Okinawa City, as well as to promote Okinawa City as the “hometown of Eisa” , a cultural revitalization of eisa was declared in 2007 by Okinawa City. In 2011, Okinawa City’s PR character was born for eisa dancing and monuments were built in various parts of the city to celebrate its history. There is even an online certification course for the history of eisa in Okinawa City. In 2018, the “Eisa Museum” opened in Koza Music Town as a cultural hub base for eisa promoters. We are further promoting urban cultural development using eisa as a keyword.






# 教えてエイ坊 エイサー Q&A



沖縄市が伝統を誇るエイサー。そもそもエイサーとは何だろう？エイサーについての質問にエイ坊がお答えします。



**エイ坊**  
「エイサーのまち沖縄市」をPRするキャラクター。エイサーが好きすぎて、時々、寝言でも「イーヤーサーサー」と言う。



## Q そもそもエイサーって何？

旧盆に帰ってくるご先祖様を供養するために踊られる盆踊りだよ。旧暦の7月13日から15日の3日間が旧盆なんだ。沖縄の方言で、13日を「ウンケー」、14日を「ナカヌヒ」、15日を「ウークイ」って言うんだよ。旧盆の夜には、沖縄県内各地でエイサーを踊る三線や太鼓の音が響き渡っているよ。



## Q エイサーってどんな踊り？

エイサーの多くは、三線と歌に合わせて、太鼓と手踊りで踊られているよ。太鼓にもいくつか種類があって、沖縄市をはじめ多くの地域では大太鼓と締太鼓のエイサーだよ。他にもパーランクーという片張りの太鼓をつかう地域もあるよ。そして、実は沖縄本島北部では、太鼓を使わない手踊りだけのエイサーを踊っている地域もあるんだ。手踊りだけのエイサーが、昔のエイサーの形だとも言われていて、沖縄市も昔は手踊りエイサーだったんだ。エイサーといっても地域や団体、年代によって色々な踊りがあって奥深いんだね。



## Q どんなうたに 合わせて踊るの？

エイサーが踊られはじめた頃は仏教の教えをうたにした「念仏歌」で踊られていたと言われていたよ。そこに、昔から歌い継がれている庶民の生活や恋をうたにした「沖縄民謡」や、明治から昭和にかけてレコードやラジオなどで庶民の間に流行した比較的新しい沖縄民謡が加わるようになったんだ。他にもオリジナル曲で踊る地域もあるよ。エイサーで踊られている「うた」は、同じうたでもリズムや歌詞が違うなど地域や団体でいろいろ特徴があるから、エイサーを観るときには、ぜひ「地方」にも注目してみてね。



## Q エイサーって沖縄だけで 踊られているの？

エイサーは、100年以上前のハワイでも移住したウチナンチュ（沖縄の人）達によって踊られていたんだ。そして、高度経済成長期には、東京、大阪、愛知へと出稼ぎに行ったウチナンチュ達によって県外でも踊られていたんだ。エイサーは沖縄が誇る伝統芸能でもありながら、時代と共に変化・発展して新しい「創作エイサー」が誕生し、今では日本各地、世界各地で踊られているんだ。



## Q エイサーは いつ始まったの？

実はエイサーがいつからどのように始まったかは、まだよく分かっていなくて、いくつかの説があるんだ。その説のひとつに、1603年に浄土宗の袋中上人というお坊さんによって琉球に伝えられた「念仏踊り」がエイサーに変化したとも言われているんだ。他にもいくつか説があるからぜひ調べてみてね。エイサーの起源が証明できたら大発見だよ！



## Q どんな人たちが エイサーを踊るの？

エイサーは主に地域の集落単位で組織される青年会のお兄ちゃん、お姉ちゃん達によって踊られているよ。沖縄市青年会協議会に加盟している青年会が21団体あり、それぞれにエイサーの特徴があって、自分たち地域の大切なエイサーを継承しているんだ。青年会はエイサー以外にも、年間おとして色々なボランティア活動等をしていて、地域にとって欠かせない存在なんだ。



## Q 白塗りの人は何を する人？

今、ほとんどの人が「チョンダラー」って呼んでいるけど、エイサーでは「サナジャー」と言うんだ。他の地域では「ナカワチ」という言い方もあるんだよ。今みんなが言っている「チョンダラー」は、本来別の芸能のことなんだ。サナジャーは、観ている観客を盛り上げるだけでなく、実は隊列を整えるなど踊り全体を知り尽くしていないと務まらない大切な役割なんだ。







# エイサーを知り、学び、楽しむ エイサー会館

Get to know, learn and enjoy the art of Eisa  
Eisa MUSEUM

2018年に沖縄市の中心地にオープンしたエイサー会館は、沖縄が誇る伝統芸能・エイサーを、見て、学んで、楽しめるエイサーの体験型施設であり、発信拠点です。

Eisa MUSEUM, located in the center of Okinawa City, was opened in 2018 as a special facility dedicated to experiencing Eisa and you can explore, learn, and enjoy, the traditional performing arts that Okinawa is proud of.

## エイサーの昔と今に触れ、楽しむ場所

2018年にオープンしたエイサー会館があるのは、沖縄市の中心部。コザ・ミュージックタウン内に、2階建、延床面積約1000㎡という広い敷地を有するエイサーの一大情報発信地です。1階の無料ゾーンにはエイサー関連の書籍閲覧室やグッズ販売コーナー、2階の有料ゾーンには最新技術による映像コーナー、エイサーの衣装や楽器などに触れられるコーナーなどがあり、さらにエイサーの保存、継承のために、日本及び世界中から収集した貴重な資料を展示するアーカイブが充実。予約制で実際にエイサーを踊る体験もでき、遊びながらエイサーを学べる設備とメニューが揃います。

### A place to experience and enjoy Eisa's past and present

Inside Koza Music Town is the major information distribution center for Eisa, a large site with two floors and a total area of about 1,000㎡. In the free-admission zone on the first floor, there is an eisa resource center and merchandise store. While the paid zone on the second floor has a video corner with the latest audiovisual technology, as well as a corner where you can touch eisa costumes and instruments. There is also a rich archive of valuable eisa materials collected from Japan and around the world. You can actually experience eisa dancing with a reservation, and you can learn how to play eisa through a hands on experience.



## エイサーが楽しめるイベント Enjoy eisa event



### エイサーのすべてをここに集約！ 沖縄全島エイサーまつり

戦後、経済的ダメージを受けていた折、「エイサーで元気を取り戻そう」と、1956年に沖縄全島から選抜された9団体が出場し、第1回コザ市エイサーコンクールを開催。エイサーに「魅せる」要素が加わり、現在のエイサーへ大きな影響を与えました。その後、1977年(第22回)より、「沖縄全島エイサーまつり」へ名称を変え、現在では3日間開催で延べ30万人の観客動員を誇る県内最大のエイサーまつりへと発展しました。

### エイサーナイト

「エイサーのまち」を宣言した2007年から毎年、記念日(6月13日)を皮切りに旧盆までのほぼ毎週末に、コザ・ミュージックタウン音楽広場をはじめ市内各地で開催されています。毎回、市内外の青年会4~5団体が出演し、エイサーシーズンの開幕を告げるイベントとなっています。



### 風山祭

2000年に山内中学校区の青年会(久保田、南桃原、諸見里、山内、山里)からなる「風山の会」による「三宅島復興支援チャリティー」として開催。今では市内外の青年会エイサーなどが参加し、連携と団結、在校生や子ども会との交流等を図る場として毎年開催されています。



### コザエイサーまつり

コザ中学校区の青年会(胡屋、園田、中の町)によって地域の発展とエイサー文化の更なる継承、青年の健全育成を図ることを目的として2012年から開催。市内青年会はもちろんのこと、市外の青年会も積極的に招き、各地域のエイサーを間近に見ることができます。



### あがりな〜ざと エイサーまつり

宮里小・中学校の青少年健全育成、地域の活性化、エイサーの継承・発展・創造と育成を目指し、青年会・自治会・小中学校との連携と団結、地域の皆さんとの交流・親睦を図るイベントとして、2005年にスタートしたまつりです。



### 沖縄こどもの国 エイサー夏まつり

毎年、夏休みに行われる沖縄こどもの国のエイサーまつり。お盆の風物詩「エイサー」をテーマに、各地域の団体が出演し演舞を披露します。子ども会の部・青年会の部があり、かわいらしい&迫力あるエイサーが楽しめます。

### エイサー検定

沖縄市では、エイサーへの理解を深めるため「エイサー検定」を実施しています。受験区分は3級から1級まであり、合格者のみ次の階級に進め、1、2級の合格者には認定証を発行しています。パソコンやスマホから何度でも、いつでも無料で受験できるので、どなたでも気軽に挑戦できます。

Okinawa City provides an "Eisa knowledge exam" to improve your understanding of eisa. There are three levels to the exam, from Grade 3 (beginner) to Grade 1 (expert). Only those who have passed the exam can proceed to the next level, and certificates are issued to those who pass Grades 1 and 2. Anyone can take the exam free of charge anytime on a PC or smartphone, so even you can take on the challenge.





—特集—  
人と文化で  
賑わう  
沖縄市

# 『音』で賑わう、音楽のまち

A town of "music" is always full of sounds

激しいオキナワンロックに三線の繊細な音色、力強いエイサー太鼓の響きまで、沖縄市には様々な『音』が溢れています。沖縄市に鳴り響く音楽の歴史と市民に身近な音楽の文化をご紹介します。

Okinawa City is full of various "sounds", from intense Okinawan rock to the delicate sound of the Sanshin and the powerful eisa drum. This section introduces the history of music resounding in Okinawa City and the culture of music familiar to citizens.

## なぜ沖縄市が「音楽のまち」と呼ばれるのか？

沖縄市には、昔から優れた民謡の唄い手＝うたさーが数多く存在し、戦後には嘉手苅林昌や登川誠仁をはじめとする優れた唄い手を輩出してきました。一方、1960年代のベトナム戦争の頃には戦地に向かう米兵たちを相手に、コザのミュージシャン達がパワフルなロックのステージを繰り広げ、腕を磨いていきます。そのような環境で生まれたのが、オキナワンロックの礎を築いたと言われる「紫」や「コンディショングリーン」とい

た伝説のロックバンド。本場さながらの演奏とステージに、米兵はもちろんコザの若者たちも酔いしれました。

1970年代に入ると、普久原恒勇が「芭蕉布」や「ゆうなの花」などの名曲を発表し、喜納昌吉が「ハイサイおじさん」などで活躍します。90年代には「りんけんバンド」や「ネーネーズ」がデビューし、近年では「DA PUMP (ISSA)」、「ORANGE RANGE」が全国的に活躍するなど、今なお多くのミュージシャンが沖縄市から羽

ばたいています。

このようにロックと民謡がそれぞれ進化を遂げつつお互いが混じり合い、沖縄市独自のコザ文化が音楽でも育まれることで、「音楽のまち沖縄市」が広く知れ渡るようになったのです。そして1983年には沖縄最大のロックイベント「ピースフルラブ・ロックフェスティバル」が始まり、2007年には「ミュージックタウン音楽市場」が誕生。一年を通してさまざまな音楽イベントが市内で開催されています。



沖縄市に響く

ロックのリズム

### Why is Okinawa City known as the city of music?

Throughout history, Okinawa City has been the birthplace of many excellent singers and song writers of traditional Ryukyu folk songs and after the end of the war, excellent singers such as KADEKARU Rinshou and NOBORIKAWA Seijin have been produced. Meanwhile, during the Vietnam War in the 1960s, Koza musicians developed powerful rock stages and improved their skills against US soldiers heading to the battlefield. Born in such an environment, legendary rock bands such as "Murasaki" and "Condition Green" became

popular and laid the foundation for Okinawan Rock. Not only American soldiers but also the youth of Koza would get drunk on the stage performances of these rock and rollers.

In the 1970's, FUKUHARA Tsuneo released several famous songs such as "Bashofu" and "Yunano-hana", and KINA Shokichi performed the popular hit song "Haisai Ojisan". In the 1990s, "Rinken Band" and "Nenes" debuted, and in recent years "DA PUMP (ISSA)" and "Orange Range" have grown popular nationwide.

In this way, rock and folk songs have evolved and become mixed with each other, and the unique Koza culture of Okinawa has been nurtured by music, leading to the moniker of "Okinawa City, City of Music." Then, in 1983, the largest rock event in Okinawa, "Peaceful Love Rock Festival" started, and in 2007, "Music Town Oto Ichiba" was born. Various music events are held in the city throughout the year.





## 沖縄市の『音』は『コザ・ミュージックタウン』で感じる

ミュージックタウン音市場は、長い年月をかけて形成されてきた「音楽のまち沖縄市」を象徴し、音楽を通した地域活性化を核とした複合音楽施設です。ライブホール、音楽スタジオ、音楽広場などから構成され、さまざまなジャンルの音楽や芸能文化を育む場として活用され、市民に親しまれてきました。「ピースフルラブ・ロックフェスティ

バル」などの大型イベントや著名アーティストのコンサート、自主企画コンサートや地域連携イベントまで、規模の大小に関わらず幅広く開催しています。また、地元の音楽活動を志す人や子どもたちのためのワークショップ等、若い世代が気軽に音楽に触れる機会を積極的に設けることで、音楽人材の育成にも力を入れています。



### Feel the “Sound” of Okinawa City at “Koza Music Town”

The Music Town Oto Ichiba is a complex music facility that symbolizes the “Okinawa City, the city of Music” that has been formed over the years and is based on regional revitalization through music. It is composed of live halls, music studios, open air music stages among others. It has been used as a place to nurture various genres of music and entertainment culture, and has been popular with local citizens. Large-scale events such as the “Peaceful Love Rock Festival”, brings famous artists, as well as independent concerts and regional events are being held widely. It is also a workplace for local musicians and place of entertainment for children.

We are also focusing on nurturing talented musicians by proactively providing opportunities for younger generations, to feel and experience more music.

### 沖縄市音楽資料館おんがく村

戦後の沖縄音楽の歴史を後世に残すため、キャンパスレコード店と協力し各地に点在する資料を7年前から継続して収集。ジャズやロック、フォークソング、沖縄民謡と900点を超えるEP盤レコードやCD、当時の写真や実際に使われていた楽譜、沖縄音楽を紹介した雑誌など、膨大な資料を展示しており、備え付けのタブレット端末から簡単に検索・閲覧することができます。



沖縄市音楽資料館  
おんがく村  
館長  
備瀬善勝

歴史の裏には、必ずと言っていいほど音楽がありました。戦後アメリカ軍の統治下にあった時代から日本復帰、そして現在と、伝統を守りながらも様々なものを取り入れ変わっていった沖縄音楽の歩みを、当時の資料を見て・聴いて学んでください。

## 市内で開催される 様々な音楽イベント

アメリカをはじめ、アジアや多国籍の人々が集う沖縄市では、毎年10月から12月までの3ヶ月間を「おきなわ音楽月間」と位置づけ、期間中、ゲート通りやパークアベニューなどに点在するライブハウスを中心に様々な音楽イベントが開催されています。

また、全国的にも吹奏楽の実力が高い学校が多いことから、小中高一般の団体を一堂に会し、市民会館をフルに活用した吹奏楽フェスティバルも開催。市内でも盛んな吹奏楽を通し、音楽に親しむ機会の提供と音楽文化の振興に努めています。平成30年度からは、フェスティバルの誘客と音楽振興に力を入れ、プロの歌手がゲスト出演することで、更なる発展と賑わいをみせています。



### Various music events held in the city

In Okinawa City, where people from the United States, Asia, and other nations gather, the three months from October to December are designated as “Okinawa Music Month” and hosts live music in venues scattered around Gate street and Park avenue. Various music events are held in the center. In addition, there are many schools with a high ability of brass band skills at a national level, so a group of Adults, elementary, middle and High schools are gathered to hold a brass band festival, making full use of the civic hall. Through the brass band that is thriving in the city, we provide opportunities to get acquainted with music and to promote our culture of music. Furthermore, since 2018, the festival has been focusing on attracting more customers and promoting music and more professional singers have appeared as guests to show further development and liveliness.

## 沖縄市の音楽の歴史をおさらい！ 沖縄市音楽年表 MUSIC CHRONOLOGY

### 1940年～

- 戦後初の民謡、捕虜の心情を歌った「PW無情」が屋嘉の収容所で生まれる
- 沖縄で最初のジャズバンド兼村寛俊カルテット結成

### 1955年～

- マルタカレコード(レーベル)発足
- 照屋林助レコードデビュー

### 1960年～

- 普久原恒勇が処女作「月眺み」を作曲する
- 屋良文雄が米軍キャンプで音楽活動を始める
- 川満勝弘、喜屋武幸雄らにより沖縄初のロックバンド、ウィスパーズが結成される

### 1970年

- バンド紫結成。大阪で行われた「8・8 ROCKDAY」に出演しメジャーデビューを果たす
- 沖縄ブームの中、喜納昌吉&チャンプルーズ、りんけんバンドなどのグループが結成され、コンディショニンググリーンがメジャーデビューを果たす

### 1989年

- アイランドの「STAY WITH ME」が大ヒットする

### 1990年

- りんけんバンドが全国デビューを果たす

### 1991年

- ディアマンテスが結成される

### 1996年

- DA PUMPがデビューする

### 2003年

- ORANGE RANGEがデビューする

### 2007年

- 紫がメンバーチェンジにより再結成
- ORANGE RANGEが自身初となるベストアルバム「ORANGE」と「RANGE」を発売し、同年8月6日付オリコンアルバムチャートで1位と2位を記録
- コザ・ミュージックタウンがオープン

### 2010年

- キャンパスレコードがコザ市(現・沖縄市)にまつわる曲を収録したCD「コザのうた」を制作
- 「ヒゲのかっちゃん」こと川満勝弘と「紫」のジョージ紫が共に沖縄市技能功労者表彰受賞

### 2014年

- 沖縄市音楽資料館おんがく村がオープン
- 川満勝弘がロック分野で初の沖縄県文化功労賞受賞

### 2015年

- 紫がデビュー40周年を迎え「8・8 ROCKDAY OKINAWA」をミュージックタウン音市場で開催。この日1夜限りの再結成をはたしたHEART BEATSとISLANDも出演

### 2018年

- 備瀬善勝と作曲家の普久原恒勇が共に第5回JASRAC音楽文化賞を受賞
- DA PUMPのISSAが「ちゃんぶる〜沖縄市大使」に就任

### 2019年

- 備瀬善勝が宮良長包音楽賞受賞



—特集—  
人と文化で  
賑わう  
沖縄市

# こどもたちの笑顔で賑わうまち

Okinawa City, full of children's smiles

こどもたちが自主的に楽しめる施設やイベント等を通して、こどもたちの豊かな感性や学ぶ力を育みながら健やかな成長を促進するとともに、こどもに優しいまちづくりを推進しています。

Through facilities and events where children can enjoy individually, we promote healthy growth while fostering rich sensibilities and the ability to learn and promote the development of a children-friendly city.

こどもから大人まで家族が笑顔になるまちづくりを目指して

沖縄市は2005年の国勢調査で15歳未満の年少人口の割合が全国1位となったことを受けて、2008年に「こどものまち」を宣言しました。こどもにやさしいまちを実現すべく、ネットワークづくりや人材育成、場所づくりの三方向からこどものまち推進事業を展開しています。その拠点となる、沖縄こどもの国(動物

園)は、琉球弧に生息する珍しい生き物を含めて哺乳類、鳥類、魚類、爬虫類など約200種類の動物がいます。それら多彩な動物達を身近に見ることで、生命の尊さやすばらしさを実感したり、小動物とのふれあい体験をすることもできます。また併設施設として、ワークショップや体験型展示を行うワンダーミュージアムや

チルドレンズセンターで年間を通してこども達の自立心や感性を育む多彩なプログラムを展開。人気のイベント「サタズooナイト(夜の動物園)」など、一年を通して様々な催し物があり、こどもから大人まで家族みんなで楽しめます。



住みよこまわりの  
未来に繋げる

Aiming to create a city where all family members from children to adults can smile

Okinawa City declared the "Children's City" declaration in 2008 after the 2005 census found that the proportion of young people under the age of 15 was No. 1 in Japan. In order to realize a children-friendly city, we are developing an urban project for children from three directions: networking, human resource development, and location planning. The Okinawa Zoo and Museum serves a key role,

with about 200 types of animals, including mammals, birds, fish, and reptiles, including rare creatures living in the Ryukyu archipelago. By seeing these various animals up close, hopefully children can experience the preciousness and respect towards life, and also experience interacting with small animals. In addition, the Wonder Museum and Children's Center, which hold workshops and hands-on exhibitions,

have a variety of programs to nurture children's independence and sensitivity throughout the year. There are various events throughout the year, such as the popular "Saturday Night Zoo," where the entire family can enjoy a special evening outing together at the zoo.



自分たちの住まちや地域に関する学習をふまえ、こどもたちが社会の成員として自らの意志を表明し、まちづくりに参画する場として「沖縄市こども議会」を開催しています。

市立中学校から推薦され、市長から任命されたこども議員30名が、ディベート研修や主要施設等の見学、まちあるき調査、市議会傍聴、市職員への聞き取りなど、約半年間の事前研修を重ね、質問や提案をまとめます。

こども議会は平成26年度より毎年開催され、これまでの活動で、こどもたちが学びまとめた意見を表明しています。

こども議会の模様は、傍聴することができ、またインターネットライブ中継も市公式サイトで行っています。



Urban development reflecting children's opinions

To learn more about the cities and communities in which they live, children of our city hold their "Okinawa City Children's Assembly" as a place where they can express their will as members of society and participate in community development.

30 members of the Diet recommended by the

municipal junior high school and appointed by the mayor repeat preliminary training for about half a year, including debate training and tours of major facilities, surveys of town walks, hearing of the city council, interviews with city staff and questions to put together tangible suggestions.

The Children's Assembly has been held every

year since 2014, and has expressed the opinions which children have learned and compiled from past activities.

The child assembly can be observed through live internet broadcast on the city's official website.



## 育児をバックアップする充実した環境と施設

Enriched environment and facilities to support childcare

### 沖縄市子育て世代包括支援センター「結ぼ〜と」

「結ぼ〜と」は、母子健康手帳の交付から妊産婦健診、乳幼児健診などを行っている「こども相談・健康課」内に平成30年10月に開設された妊娠・出産・子育てに関する相談窓口で、保健師、助産師、精神保健福祉士、栄養士の専門職が、子育て世代の心配ごとや困りごとに応じた情報提供や担当窓口の紹介等を行っています。

また、母子未来センター内に設置された若年妊産婦を支える「若年妊産婦の居場所」や乳幼児健診の未受診時訪問等を行っている「沖縄市母子保健推進員協議会」等の関係者へ紹介し、支援をつなげています。

女性だけでなく、子育て中の男性や家族・友人からの相談も受け付けており、妊娠・出産・子育てについて、どこに相談してよいか迷った際の相談窓口として、多くの市民の利用を呼びかけています。



Okinawa City Child Care Generation Support Center "Yui-port"

"Yui-port" is located in the "Child Consultation and Health Section" which provides maternal and child health handbooks, maternity checkups, and infant and child checkups.

Established in October of 2018, we offer consultation for pregnancy, childbirth and child care, public health, nurses, midwives as well as mental health staff. Highly trained professionals provide you with information and introduces the contact person in charge according to the concerns and needs of the child-rearer.

In addition, a place to support young pregnant women as well as infants and children who have not been examined has been installed in the Mother and Child Future Center.

We introduce them to related parties such as the Okinawa City Maternal and Child Health Promotion Council, who are conducting occasional visits and provide overall support.

In addition to women, we also accept consultations from men who are raising children, families and friends, and call on the use of many citizens as a consultation window if you or someone you know is wondering where to go for questions regarding pregnancy, childbirth and child care.



OKIIKU (おきいく)



OKIIKU手帖

#### OKIIKU / OKIIKU notebook

"OKIIKU" is a portal site for childcare support in Okinawa City.

For child-raising households living and working in the city, we collect information on child-care facilities, parks and children's facilities, consultation counters in case of trouble, and various child-raising information useful for child-raising.

In addition, the Okinawa City Children's Support Guidebook OKIIKU Notebook provides information on procedures, services, and facilities tailored to the child's growth process, as well as portal sites, and other useful information for childcare.

### OKIIKU (おきいく) / OKIIKU 手帖

「OKIIKU (おきいく)」は、沖縄市の子育て支援に関するポータルサイトです。

本市在住在勤の子育て世帯に向けて、保育施設や公園・児童施設の情報や困ったときの相談窓口、子育てに役立つ制度など市内の様々な子育て情報をぎゅっと集めてお届けしています。

また「沖縄市こども支援ガイドブックOKIIKU手帖」では、こどもの成長過程にあわせた手続きやサービス、施設の情報など、ポータルサイトと併せて子育てに役立つ情報を発信しています。

### 児童館・児童センター

児童館は0歳から18歳未満のこどもたちが無料で気軽に利用できる施設です。

雨の日でも思いきり身体を動かして遊べる遊戯室、図書室、学習室、集会室など様々な部屋があり、ママ友づくりや子育て中の親子の交流の場にもなっています。

The Jidokan and children's center

The Jidokan is a free facility for children aged 0 to under 18 years old. There are various rooms such as a play room, a library room, a study room, and a meeting room where you can play indoors even on a rainy day. It is also a place for making friends with mothers and interacting with parents who are also raising children.



宮里児童センター



# 「平和」を考え、住み

沖縄市は、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、核兵器の廃絶を誓う全世界の人々と相携え、人類の恒久平和が実現することを決意し、1985(昭和60)年6月28日、「核兵器廃絶平和都市宣言」を行いました。

Based on the ideal of permanent peace as stated in the Constitution of Japan, Okinawa City has decided to work with people from all over the world promising to abolish nuclear weapons to realize permanent peace for mankind, on June 28, 1985, the Declaration of a Peaceful City for the Elimination of Nuclear Weapons was made.



## 核兵器廃絶平和都市宣言～ 9月7日は沖縄市民平和の日

沖縄県は去る大戦において住民を巻き込んだ凄惨な地上戦の場となり、県民が犠牲になりました。本市ではこのような背景から、世界に向けて戦争の根絶を訴えとともに世界平和を実現するために、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、核兵器の廃絶を誓う全世界の人々と相携え、人類の恒久平和を実現することを決意し、昭和60年に「核兵器廃絶平和都市」を宣言しました。

平成3年に、原爆被災地の広島市と長

崎市に交互に平和大使を派遣する「親子平和大使事業」をスタート。沖縄戦の降伏調印式が昭和20年9月7日に本市の森根で行われたことから、すべての人が等しく平和で豊かな生活がおくれるまちづくりを進めることを目的に、平成5年に全国で初めて市町村独自の「平和の日」を条例で制定し、9月7日を「沖縄市民平和の日」と定めて、毎年、8月1日から9月7日までを平和月間として、戦跡めぐりや平和講座などの平和アクションプ

### Declaration of a peaceful city for abolition of nuclear weapons September 7th is Okinawa Citizen's Day of Peace

Okinawa prefecture became a place for a terrible ground battle involving the residents during the Great War, and the people of the prefecture were sacrificed. Against this background, the city will work with people from all over the world swearing to abolish nuclear weapons based on the principle of permanent peace in the Japanese Constitution in order to appeal to the world for eradication of war and achieve world peace. And decided to realize the permanent peace of mankind, and declared the "peace city for abolition of nuclear weapons" in 1985. In 1991, the "Parent and Child Peace Ambassador Project" was launched, in which the Peace

Ambassadors were dispatched alternately to the Hiroshima and Nagasaki cities affected by the atomic bomb. Since the surrender signing ceremony of the Battle of Okinawa was held in Morine, Motoichi, on September 7, 1945, the purpose of Heisei 1993 was to promote the development of a town where all people can enjoy a peaceful and affluent life. The first nationwide municipal "Peace Day" was enacted by law for the first time nationwide, and September 7 was designated as "Okinawa Citizen's Day". Every year from August 1 to September 7 is Peace Month. We are promoting peace action programs such as tours of the battlefields and peace courses.

ログラムを推進しています。

また戦後74年が経過する中で、戦争体験者の高齢化により「語り部」が年々少なくなっています。このため、沖縄戦の記憶の「語り部」の発掘や人材育成をはじめ、平和学習や平和交流の活動支援やネットワークの充実などを通して市民の平和の認識を深めるとともに、平和への取り組みを内外に発信すべく平和大使研修を実施しています。

Also, as 74 years have passed since the end of the war, the number of "narrators" has been decreasing year by year due to the aging of people who have experienced war. For this reason, we will deepen the awareness of citizens' peace through the support of peace learning and peace exchange activities and the enhancement of networks, including the discovery of "narratives" of memories of the Battle of Okinawa and the development of human resources. We are conducting a training of Ambassador for Peace as much as possible.

# よく賑やかなまちづくり

Creating a lively city with a peace of mind

## 沖縄市平和大使とは？

平和な21世紀を創造する人材の育成を目的に、平和学習、平和交流を通して戦争の悲惨さ、平和の尊さ、生命の大切さを学び、沖縄戦の悲惨な体験や教訓を次世代に継承していくために、平成3年から毎年、平和大使を育成しています。

沖縄市内各中学校より推薦を受けた中学生大使と公募により選ばれた社会人大使が、約9ヶ月間の研修の中で、沖縄の歴史や文化、沖縄戦に関する座学や資料館見学、沖縄戦跡などへのフィールドワーク、式典参列、県外研修などを通して戦争の悲惨さや平和の大切さを学びながら平和な社会を創造していくために、平和交流、恒久平和を発信し続けています。

### What is Okinawa City Peace Ambassador?

Aiming at training human resources to create a peaceful 21st century, learn the misery of war, the value of peace, and the importance of life through peace learning and peace exchange, and pass on the miserable experiences and lessons of the Okinawa war to the next generation Every year since 1991, we have trained Ambassadors for Peace.

A junior high school ambassador recommended by each junior high school in Okinawa City and a business ambassador selected by public recruitment will participate in a 9-month training, attending lectures and museums on Okinawa's history and culture, the Battle of Okinawa, and the Okinawa Battle Site. In order to create a peaceful society while learning the misery of war and the importance of peace through fieldwork, ceremony attendance, training outside the prefecture, etc., we continue to send peace exchanges and permanent peace.



## 平和大使ソング

平和大使ソングである「時代(とき)の語り部」は、本市職員が作詞・作曲した恒久平和への願いを後世へ伝えていくための歌です。毎年認定される平和大使は、市町村や市民団体などが開催する県内外のイベントに参加し、手話を交えて歌を披露しながら「平和」を広く発信しています。

### Ambassador Song for Peace

The narrator of the times, a song by the peace ambassador, is a song that tells future generations the wish for permanent peace written and composed by Motoichi officials. The accredited peace ambassador participates in events both inside and outside the prefecture held by municipalities and citizens' groups, and spreads "peace" while singing with sign language.

### 平和大使ソング「時代(とき)の語り部」

作詞・作曲 特異良典

生まれる時代をもしも 選べるのなら  
また この時代に 生まれてみたい  
儼しさ 地球の温もり 大事なものが  
あふれている この場所が とても好きだから  
忘れかけている 過去の過ちを  
二度と繰り返す 事がないように  
踏み出そう その足で しっかりと 前を向いて  
限りある時間の中 できることがあるから

生まれる時代をもしも 選べるのなら  
また この時代に 生まれてみたい  
永遠に平和な日々と 命の尊さ  
大空のキャンパスに 自由に描くために  
癒えぬ 心の傷は 消えることはないけど  
過去を 忘れずに 明日を見つめて  
飛び立とう その羽で 希望という未来へ  
限りある 時間の中 時代の語り部として

飛び立とう その羽で 希望という未来へ  
限りある 時間の中 時代の語り部として

## 沖縄市平和イメージ キャラクター「キューナ」

「キューナ」は、嘉手納基地内生まれの本物の妖精で沖縄市の平和イメージキャラクター。

沖縄戦が公式に終結した9月7日を「沖縄市民平和の日」として、沖縄市民をはじめ多くの人に知ってもらおうと積極的に普及活動に尽力しています。

